



炭竈 ふく代 議員
公明党

問 小学生にプログラミング教育を

答 総合計画に盛り込んでいきたい



▲市内小学校のパソコン授業風景（十四山東部小学校）

問 次期学習指導要領における32年度からの小学生へのプログラミング教育の必修化に伴い、以下を問う。

答 現在、各校のパソコン教室での授業内容は、小学校では基礎からの学習や、生活に役立てる情報社会の創造に参画しようとする態度を養っている。

中学校では技術科の授業を中心に総合学習の調べ物など、多くの機会で利用されている。

問 今後、プログラミング教育をどのように行っていくか。

答 学校教育課長 教科としては、理科・算数・音楽・図画工作など、情報技術を手段として、人間力を養っていく。

問 教える側への支援、指導体制の考えは。

答 市長 教育委員会の議論を経て、総合教育会議で協議する。その上で財政投資を考慮し、第2次総合計画に盛り込んでいきたい。

問 33年度供用開始予定とされるJR・名鉄弥富駅の自由通路および橋上駅舎化事業の進捗を問う。

答 鉄道事業者との協議は行われたか。

問 JR・名鉄駅橋上化の後は

答 供用開始は34年度末以降

問 現在、事業状況と今後の取り組みは。

答 開発部長 本年6月にJR、名鉄、本市の三者合同協議を実施。

問 現在の事業状況と今後の取り組みは。

答 開発部長 依然、名鉄の合意が得られていないが、三者会議の結果、概略検討図を作成し、設計の着手を目指すことで一致。

今年度は名鉄敷地の調査実施を予定。

供用開始は34年度末以降の予定。



▲JR・名鉄弥富駅